

## 市内の地域密着型サービス事業所を紹介します

### ◎小規模多機能型居宅介護

デイサービスを中心に訪問や泊まりのサービスを組み合わせ、本人の心身の状況や希望に応じ、入浴、排せつ、食事等の介護や機能訓練などを行います。

名称	所在地	電話・FAX	法人
じょいふるあつといなえ	下西川町 1098	☎43-2274 (FAX 共用)	NPO 法人ホームスイートホーム

### ◎認知症デイサービス

認知症の高齢者が施設に通い、入浴や食事の提供、機能訓練などを受けます。

名称	所在地	電話・FAX	法人
デイサービスセンターさくら	平田町 1009	☎27-3111 (FAX 共用)	尙山孜社
ぬくもりの家みかさつかさ	下西川町 679	☎43-6114 (FAX 共用)	NPO 法人ホームスイートホーム
あつたかハウス 京町デイサービスセンター	京町一丁目 4-7	☎30-0170 (FAX 共用)	(株)アイズケア
あつたかハウス 甘呂デイサービスセンター	甘呂町 490	☎28-1710 (FAX 共用)	(株)アイズケア
デイサービスセンターべるグリーン	田原町 87-2	☎43-7661・FAX43-7665	鈴木ヘルスケアサービス(株)
デイホームぶどう	後三条町 468	☎26-3135 (FAX 共用)	NPO 法人喜房会
かいご 邂逅の郷デイサービスセンター	日夏町 151	☎28-7960・FAX28-0319	(社福)大樹会

### ◎認知症グループホーム

認知症の高齢者が少人数で共同生活をしながら、家庭的な雰囲気のなかで介護や機能訓練を受けます。

名称	所在地	電話・FAX	法人
グループホームゆうゆう	川瀬馬場町 1015-1	☎28-7662・FAX28-9322	(財)豊郷病院
グループホームさざなみ苑	城町二丁目 13-3	☎27-1565・FAX27-1429	(社福)さざなみ会
栄町グループホーム	栄町二丁目 1-22	☎27-3314 (FAX 共用)	NPO 法人びわ
グループホーム和楽	野田山町 1099-1	☎30-3387・FAX30-3386	(社福)大樹会
あつたかハウス 京町グループホーム	京町一丁目 4-7	☎30-0170 (FAX 共用)	(株)アイズケア
あつたかハウス 甘呂グループホーム	甘呂町 490	☎28-1750 (FAX 共用)	(株)アイズケア
グループホーム「憩いの里」彦根	外町 100	☎26-5991・FAX26-5992	(株)ウイルケア
グループホーム鈴の家	田原町 87-2	☎43-7662・FAX43-7665	鈴木ヘルスケアサービス(株)

### ◎特別養護老人ホーム(小規模)

自宅での介護が難しい高齢者が、施設(定員 29 人以下)に入所して、入浴、排せつ、食事などの介護や機能訓練および療養上の世話を受けます。

名称	所在地	電話・FAX	法人
特別養護老人ホーム 風蝶木	極楽寺町 596	☎25-5288・FAX25-5277	(社福)喜創会
かいご 邂逅の郷 特別養護老人ホーム	日夏町 151	☎28-7950・FAX28-0319	(社福)大樹会

## 地域で受ける介護サービス

現在、彦根市では、認知症デイサービス、小規模多機能型居宅介護、認知症グループホーム、特別養護老人ホームについて、市内の 18 か所を地域密着型サービス事業所として指定しています。

平成 19 年 7 月に、彦根市で初めて、小規模多機能型居宅介護施設として指定を受けた「じょいふるあつといなえ」を運営する、NPO 法人ホームスイートホーム理事長の古川博敏さんに運営を始めたきっかけや思いなどを聞いてきました。



▲体操をする「じょいふるあつといなえ」の利用者



▲古川博敏さん

介護サービスを始めたのは、父親の看病体験がきっかけです。父親が病気のため、京都の病院で入院することになり、私を含めた家族は、毎週末に京都まで通っていました。闘病生活は、1 年間続きました。家族は離れた場所に通うことで疲れてきたり、ストレスを感じたりしました。また、父親も自分の地域から離れた場所での生活にストレスを感じていました。

本人・家族にとっても、苦勞した看病生活を体験したことで、身近な地域で介護をしていくことの大切さを強く実感しました。そこで、地域で介護ができる場所を作ろうと思い、NPO 法人を平成 17 年 2 月に立ち上げました。NPO 法人を立ち上げた当初に始めたデイサービスや託老・託児施設を運営していて、高齢者を介護するときに、状況に応じて様々な施設を利用しなければならず、

多機能型施設の必要性を感じていました。

小規模多機能型施設のいい点は、デイサービス・ショートステイ・訪問介護の 3 つのサービスがセットになっていることです。この 3 つを利用者の状況に応じて臨機応変に組み合わせることができ、顔なじみのスタッフが対応するため、利用者には、とても便利で安心できるサービスだと思います。

一方、問題もあります。まだまだ知名度が高くありません。いいサービスでも、経営していくためには、ある程度の人に利用していただかないと続けていきません。また、私たちの事業所は、24 時間 365 日対応できるようにする必要がありますが、定員の関係があり、必ずしも毎日利用できるとは限りません。

### じょいふるあつといなえ 利用者の声



むらきえいこ  
村木映子さん

週に 3 回、この場所に通っていますが、職員の人やここに来ている人も顔なじみなので、楽しく過ごしています。ここでは、みんなといういろいろな話をしながら、料理の手伝いをしたり、さまざまな物を作ったりしています。顔が見える関係なので、安心して利用しています。

しかし、利用者にとっては、いいサービスだと思います。知名度が上がれば、利用者が増えていき、市内の全ての中学校区に施設ができればいいと思います。地域の人が地域の施設を利用して、地域で福祉を支えるという理想の形ができると思います。



▲下西川町にある「じょいふるあつといなえ」